

研究実施のお知らせ

2025年11月12日 ver.1.0

研究課題名

潜在性結核感染症（LTBI）治療の安全性に関する単施設後ろ向き観察研究

研究の対象となる方

2012年4月から2025年11月の間に島根大学医学部附属病院で潜在性結核感染症の治療を開始された方

研究の目的・意義

潜在性結核感染症（せんざいせいけっかくかんせんしょう：LTBI）とは、結核菌に感染しているものの、まだ発病していない状態をいいます。この状態の方は、将来、体の抵抗力が弱まったときに結核を発症する可能性があります。そのため、発病を防ぐために予防的な薬の治療（LTBI治療）が行われます。

しかし、治療に使用する薬の中には、まれに肝臓などに副作用を起こすものがあります。特に高齢の方や、他の病気で多くの薬を飲んでいる方では、副作用が起こる危険が少し高くなることが知られています。

この研究では、当院で過去にLTBI治療を受けた患者さんの診療記録を振り返り、治療中に副作用が起きた方の特徴や、重い副作用が起きやすい要因を調べることを目的としています。

この結果を明らかにすることで、今後LTBI治療を受ける方にとって、より安全で副作用を予防できる治療方法を考える手がかりになると期待しています。

研究の方法

この研究では、当院で2012年4月から2025年11月までの間に、潜在性結核感染症（LTBI）の治療を受けた患者さんの診療記録を用います。すべての情報は、電子カルテなどに記録された既存の情報のみを利用し、新たな検査や治療を行うことはありません。

調べる内容には、患者さんの年齢、性別、基礎疾患、使用した薬の種類、治療期間、血液検査の結果、副作用の有無などが含まれます。収集した情報はすべて匿名化し、個人が特定されることはありません。また、研究結果は統計的にまとめて報告し、個人の情報が外部に漏れることはありません。

この研究は、当院の倫理審査委員会の承認を受け医学部長の許可を得て実施されます。

ご自身の情報をこの研究に使われることを望まれない場合は、いつでも利用停止を申し出ることができます。

研究の期間

2026年1月20日から2027年3月31日まで

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 天野 芳宏

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026年6月までにお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができます、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学／附属病院 呼吸器・化学療法内科 天野 芳宏

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2580 FAX 0853-20-2581